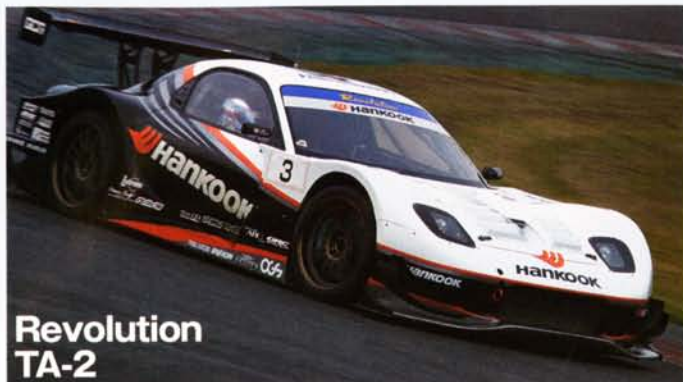


11月の筑波でテストを行うチューナーに訊いた 今年の仕様と作戦!

11月8日、スーパーバトルが1ヶ月後となった筑波サーキットコース2000で開催された
パワーハウス・アミューズの走行会は、いつもと様子が違っていた。
パドックには数多くのショップがデモカー集まり、スーパーバトルを想定したテストを行っていた



**Revolution
TA-2**

前回のスーパーバトル後にフロントサスのジオメトリー変更やリアディフューザー、エキゾーストまわりのアップデートを行って、イースタンクレークのワールドタイムアタックに出場。その状態のものを先日筑波で走らせ、空力、ライドハイトの筑波でのバランスを確認済み。この時点での中古タイヤで55秒半ばのタイムを刻んでいる。あとは当日の天候や気温など、アタック環境がいい条件になることを期待しつつ本番を待つのみ

ストリートラジアル2WD最速を誇るアームズのS15。大幅な変更はない、としながらも足まわりを見直し、車高調は前回のアベックスベースからスピリットベースに変更。ブレーキはABSを装着し、前回のノーマルR32用ノーマルのキャリパーから、R32プレンプ



ARMS S15

ボに戻している。エンジンは可変バルタイ&リフト機構を持つSR20VEのまま変わらずだが、タービンサイズを1サイズ下げ、レスポンスアップを狙った仕様に變更。最終的にスプリングのベストマッチを探っていくという。目標タイムは昨年の1分フラットを上まわる59秒台だ

基本的にはノーマルエンジンに足まわりチューンのTM-SQUAREのマシン。今年は、市販予定のフライホイールを先行で取り付け、さらにTM-SQUAREのマフラーの延長線上

にある専用ワンプ品を装着し、ポテンシャルアップを図っている。そしてタイヤにスリックのような見た目のクムホV710を履いて、1分4秒台を狙う。V710を履くことで、セッティングの方向性が変わってしまっている、そのセッティングを見出せるか、という課題に現在挑戦中



**TM-SQUARE
SWIFT
sport**



**Reverse
GT-R**

基本的にはエンジン、ミッション等にHKSを使用した昨年の仕様のまま。タイヤは265/35R18のAD08を履いているが、295サイズをテスト中。さらには、アクセルを戻さずにシフトアップができるよう点火カットシステムを採用予定。現在この2アイテムを最終チェック中で、今年は58秒台を狙う

ライトチューンにとどめたマシンでアタックを続けるSEEKER。筑波との相性がよくない重い車重と長いホイールベースのFD2を、セッティングでいかに速く持っていくかが課題という。KテックのK215-SLエンジンに合わせ、足まわりを見直し、セッティングを煮詰めている。目標は1分3秒台だ



**SEEKER
CIVIC
TYPE-R**



**PANSPEED
StreetKing**

シーケンシャルシフトを採用しているということで、オープンクラスへの参戦となるストリートキング号だが、パン・スピードとしてはストリートマシンであるというコンセプトは変わらない。オーディオ、エアコンを装備し、シーケンシャルも含め、きちんと車検を取得したマシンだ。ブレーキ関連のバージョンアップを図り、タイムアップを目指す。もちろんワールドタイムアタックを戦ったタイムアタック号もオープンクラスに参戦する

西のホンダチューナーJ'Sレーシングは、フロント、サイド、リアの外装にリアウイング、パワー面ではエアクリナー、チタンエキゾースト、それに試作のスポーツ触媒など、自社パーツをフル装備した完全ストリート仕様のCR-Zで参戦する。足まわりはクラックス



J'S Racing CR-Z

ベースのJ'Sダンパー、ホイールはレイズRE30。タイヤはクムホV700でバトルに臨む。とくにハイパーECUのセッティングがかなり貢献しているという。これからギア比変更やスタビ補強でターゲットタイム1分7秒5を狙う

ジムカーナSAクラス出場マシンをサーキット仕様に変更したエボX。5MTでエアコン&ABSレスのRSをベースにしたライトチューン仕様。MKスポーツが提案する街乗り

からサーキットまで十分なキャパを持つ、という足まわりセッティングをさらに煮詰めて、つくり込んでいる。Sタイヤ装着で、筑波1分0秒7のタイムを出しているが、ストリートラジアルでの計測はこれまでナシ。今回はZ1スターズバック(275/35R18)を履き、2秒切りを狙う



MKsport itzz-DL-MKs Lancer



PIT ORC ORC34

Zチャレンジに合わせて製作したPIT ORCの34Z。もちろん、市販化を前提とした小倉クラッチのテスト品を投入し、さらに仕様変更等を重ねている最中。スーパーバトルに向けて、最終の足まわりセッティングが決まっていなくて、さらに煮詰めていく予定。今回の目標タイムは1分4秒

写真は別車両だが、基本的にはディレチャレに出ているままの仕様のZ34で参戦を予定。Z33で3秒フラットだったこともあり、Z34ではそれを上回る1分2秒台を狙う。サスはハイバコにアラゴスタベースのNOVUMオリジナル減衰力としたCRUSDンパーをさらに詰め、アタックに最適などところを模索中



**NOVUM
Fairlady Z34**